/	/ 50						2	2	/ 50						1	/ 10	国語
問八 工 ₅	問七 A エ B ア C ウ D イ x 4	問六 一 ウ 二 イ 三 エ 四 オ 五 ア 1 1	問五	お別れの言葉を書いてもらうため。 参加が小学校を卒業する前に、クラスの友だちに思い出や	問三 おばっ た。 点	ことで彼女に意地悪をすることができると思ったから。 85 給食当番として野村さんが嫌いなとん汁をつぐ仕事をする	を持っているが、素直にみとめることができないから。 □あいて」とは「野村さん」のことで、赤介は本当に好意	イ「うく)」には「予けない」)。これで、ブラックーには「予けない」)。	(7)	問六 A ア B ウ C エ D イ z x 4	ふるまっている人を観察し、おのずと摸倣しているから。 ^{7点} 家庭や学校でしつけられるとともに、勤勉で礼儀正しく	問四 ゆ えん。 3点	を縛って同じことを見せると、手でランプをつけるということ。 塩 幼児の前でランプを頭でつけて見せると、幼児も頭でつけ、両手	洞察したりする個体学習。 結果の再現を目指し、自分自身で試行錯誤したり	問一 イ 3点	受番	二〇一九年度 入学試験解答用紙 第三回